

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験

博士課程前期課程

文学研究科

人文学専攻・日本文学専修

※2019年9月入学 入学試験は、筆記試験の実施がないため掲載していません

入試方式	実施月	コース	専門科目		外国語(英語)	
			ページ	備考	ページ	備考
一般入学試験	9月	研究一貫	×		×	
	2月		×		×	
	9月	高度専門	P.1~			
	2月		P.3~			
社会人入学試験	9月	研究一貫	×			
	2月		×			
	9月	高度専門				
	2月					
外国人留学生入学試験	9月	研究一貫				
	2月					
	9月	高度専門				
	2月					
学内進学入学試験	9月	研究一貫				
	9月	高度専門				
学内進学入学試験 (大学院進学プログラム履修生対象)	2月	研究一貫				
	2月	高度専門				
APU特別受入入学試験	9月	研究一貫				
	9月	高度専門				

立命館大学大学院
2018年度実施 入学試験
博士課程 後期課程

文学研究科

人文学専攻・日本文学専修

※2019年9月入学 入学試験は、筆記試験の実施がないため掲載していません

入試方式	実施月	科目	ページ	備考
一般入学試験	2月	英語	×	
外国人留学生入学試験	9月			
	2月			
学内進学入学試験	2月			

2019年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2018年9月15日

博士課程前期課程 人文学専攻

日本文学専修

高度専門コース

「専門科目」

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない

2019年度 立命館大学大学院文学研究科入学試験問題

2019年2月16日

博士課程前期課程 人文学専攻

日本文学専修

高度専門コース

「専門科目」

●受験上の注意

- ① 試験中、冊子をばらしても構わないが、終了後再び綴じて提出すること
(ホッチキスを貸与します)
- ② 全ての用紙に受験番号、氏名等を記入し、提出すること

●試験中の持込許可物件について

- ① 筆記用具、受験票、時計以外の持込は認めない

文学研究科入学試験答案用紙

専攻・専修名 人文学専攻 (日本文学専修)	課程 前期課程	科目 専門科目	コース 高度専門	受験番号	氏名
-----------------------------	------------	------------	-------------	------	----

以下の問題について、すべて答えなさい。解答の際には、問題番号を明記すること。

問題一 日本文学・日本語学の研究を進展させるために最も重要と考えられる事項は、何か。自身の研究課題に沿って、できるだけ詳しく、具体的に論述しなさい。

問題二 イ・ロのいずれか一題を選択し、論述しなさい。

イ「近世以前の日本文学、および日本語学を主たる研究対象とする予定の者」

次の文章を、現代語訳しなさい。

鶯は、文などにもめでたきものに作り、声よりはじめて様かたちもさばかりあてにうつくしきほどよりは、九重のうちに鳴かぬぞいとわろき。人の「さなむある」と言ひしを、さもあらじと思ひしに、十年ばかりさぶらひて聞きしに、まことにさらに音せざりき。さるは竹近き紅梅も、いとよく通ひぬべきたよりなりかし。まかでて聞けば、あやしき家の見所もなき梅の木などにはかしがましきまでぞ鳴く。夜鳴かぬもいぎたなき心地すれども、今はいかがせむ。夏秋の末まで老い声に鳴きて、「虫くひ」などようもあらぬ者は名を付けかへて言ふぞ、くちをしにくすしき心地する。それもただ雀などのやうに常にある鳥ならば、さもおほゆまじ。春鳴くゆゑこそはあらめ、「年立ちかへる」などをかしきことに歌にも文にも作るなるは。なほ春のうち鳴かましかば、いかにをかしからまし。人をも、人げなう世のおぼえあなづらはしうなりそめたるをば、そしりやはする。

出典：津島知明・中島和歌子編『新編枕草子』おつふい、二〇一〇年、pp.64-65。(ISBN:978-4273035617) 権利者の許可を得て掲載

ロ「明治以降の日本文学を主たる研究対象とする予定の者」

近現代の文学の研究における書誌の重要性について、具体的に述べなさい。

問題三 次の①から④までのすべての問題について、それぞれ解答用紙数行程度で、論述しなさい。

- ①『浜松中納言物語』について、知るところを述べなさい。
- ②古今伝授について、知るところを述べなさい。
- ③志賀直哉の文学について、知るところを述べなさい。
- ④外来語について、知るところを述べなさい。